



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMS

コード番号 7702 URL <http://www.ims.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥窪 宏章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 遠藤 正樹

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 082-243-5844

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,714	7.4	196	△80.3	444	△62.5	200	△71.7
25年3月期第2四半期	23,946	6.7	994	139.9	1,185	102.9	709	148.1

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 727百万円 (100.5%) 25年3月期第2四半期 363百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.12	—
25年3月期第2四半期	16.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	52,062		29,998		57.5
25年3月期	51,286		29,462		57.3

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 29,917百万円 25年3月期 29,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	7.0	1,000	△37.3	1,200	△36.2	600	△53.0	12.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	49,466,932 株	25年3月期	49,466,932 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	700,267 株	25年3月期	693,451 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	48,770,297 株	25年3月期2Q	43,156,327 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
（継続企業の前提に関する注記）	12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	12
（セグメント情報等）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、先進国をはじめ新興国の堅調な需要拡大を背景に、欧米大手各社が事業統合などにより規模の利益を追求するなど、企業間競争は厳しさを増しています。一方、国内においては、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しているものの、本格化する高齢社会に対応する医療機器や、再生医療をサポートする周辺機器の提供が求められる等、新たな市場も現れつつあります。

このような環境の中、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、「医療の安全」「医療の効率化」「再生医療」の3つをキーワードとして、販売品目を4つのシステム群に分類し、輸液輸血群及び一般用品群では、医療の安全に貢献する輸液及び経腸栄養関連製品を、透析群では、医療の効率化に資する血液透析及び腹膜透析の両分野の製品を、循環器群では、膜型人工肺、人工心肺回路等の高付加価値製品を中心に、製品の開発・生産・販売を進め収益拡大に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円安による為替換算の影響も加わり、前年同四半期に比べ17億68百万円増加の257億14百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

利益につきましては、労務費の増加に加え、運送費や手数料等の販売費が増加したことから、営業利益は1億96百万円（前年同四半期比80.3%減）となりましたが、経常利益は、海外での為替が有利に作用したことにより4億44百万円（前年同四半期比62.5%減）となり、税金費用等を差し引いた結果、四半期純利益は2億円（前年同四半期比71.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

輸液輸血関連製品や医療用手袋の販売は堅調に推移したものの、血液透析装置及びその付属機器の販売が減少したため、売上高は193億81百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。また、セグメント利益については、増産対応のための自動化設備の増設に伴う償却負担のほか、手数料等の販売費が一時的に増加したため、1億88百万円（前年同四半期比74.7%減）となりました。

② 東南アジア

日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が減少したものの、米国向けの成分献血用回路の販売が引き続き好調に推移したため、売上高は85億46百万円（前年同四半期比23.6%増）となりました。また、セグメント損益については、労務費の増加等により、前年同四半期に比べ2億69百万円減の14百万円の損失となりました。

③ 中国

日本向けの輸液セットの販売が減少したものの、欧米向け及び中国国内向けのAVF針（血液透析用針）の販売が引き続き伸長したため、売上高は17億24百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。また、セグメント損益については、為替による円建ての売上金額減少により、前年同四半期に比べ99百万円減の81百万円の損失となりました。

④ ドイツ

ドイツ国内向けの血液浄化関連製品の販売が堅調に推移したため、売上高は13億83百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。また、セグメント利益については、為替による円建ての仕入金額減少により1億12百万円（前年同四半期比51.8%増）となりました。

⑤ アメリカ

北米向けの誤穿刺防止機構付翼状針の販売が引き続き増加したため、売上高は13億67百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。また、セグメント利益については、所有株式の配当金受取により1億11百万円（前年同四半期比63.8%増）となりました。

⑥ その他

売上高は7億70百万円（前年同四半期比27.5%増）、セグメント利益については、15百万円（前年同四半期比80.7%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億76百万円増加の520億62百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億75百万円減少の308億68百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億51百万円増加の211億93百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億88百万円減少の172億98百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等の減少であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ8億29百万円増加の47億65百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億36百万円増加の299億98百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は0.2ポイント上昇の57.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ8億57百万円減少の39億52百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ12億27百万円減少の6億47百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ10億22百万円増加の25億75百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ5億10百万円増加の16億38百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日付けの「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表しました平成26年3月期（通期）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,153	3,954
受取手形及び売掛金	15,026	14,382
商品及び製品	5,214	5,836
仕掛品	1,973	2,154
原材料及び貯蔵品	3,571	3,528
その他	1,110	1,019
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	31,044	30,868
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,286	5,795
その他(純額)	10,742	11,057
有形固定資産合計	16,029	16,853
無形固定資産		
	734	766
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,481	3,576
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	3,477	3,573
固定資産合計	20,241	21,193
資産合計	51,286	52,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,474	7,133
短期借入金	3,237	4,054
1年内返済予定の長期借入金	1,386	1,578
未払法人税等	503	131
製品保証引当金	6	6
賞与引当金	1,002	1,073
資産除去債務	21	21
その他	4,254	3,298
流動負債合計	17,886	17,298
固定負債		
長期借入金	2,393	3,235
退職給付引当金	447	463
役員退職慰労引当金	51	57
資産除去債務	146	147
その他	897	861
固定負債合計	3,936	4,765
負債合計	21,823	22,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,362	10,362
利益剰余金	12,687	12,693
自己株式	△271	△274
株主資本合計	30,189	30,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286	354
為替換算調整勘定	△1,084	△629
その他の包括利益累計額合計	△798	△275
少数株主持分	71	80
純資産合計	29,462	29,998
負債純資産合計	51,286	52,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	23,946	25,714
売上原価	17,092	19,147
売上総利益	6,853	6,567
販売費及び一般管理費	5,859	6,371
営業利益	994	196
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	11	51
持分法による投資利益	107	95
為替差益	76	140
その他	63	55
営業外収益合計	262	345
営業外費用		
支払利息	38	33
支払手数料	19	46
その他	13	17
営業外費用合計	70	98
経常利益	1,185	444
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産廃棄損	19	35
投資有価証券評価損	46	9
特別損失合計	66	48
税金等調整前四半期純利益	1,120	398
法人税、住民税及び事業税	400	159
法人税等調整額	2	34
法人税等合計	402	194
少数株主損益調整前四半期純利益	717	204
少数株主利益	7	3
四半期純利益	709	200

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	717	204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	67
為替換算調整勘定	△266	455
その他の包括利益合計	△354	523
四半期包括利益	363	727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	357	718
少数株主に係る四半期包括利益	5	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,120	398
減価償却費	814	1,043
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	23	21
受取利息及び受取配当金	△14	△55
支払利息	38	33
為替差損益(△は益)	20	△74
持分法による投資損益(△は益)	△107	△95
固定資産売却損益(△は益)	△1	0
固定資産廃棄損	19	35
投資有価証券評価損益(△は益)	46	9
売上債権の増減額(△は増加)	953	787
たな卸資産の増減額(△は増加)	△583	△565
仕入債務の増減額(△は減少)	99	△376
未払消費税等の増減額(△は減少)	34	6
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41	87
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△283	△88
その他	60	△30
小計	2,199	1,140
利息及び配当金の受取額	85	109
利息の支払額	△38	△37
法人税等の支払額	△370	△564
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,874	647

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	—
定期預金の払戻による収入	4	—
有形固定資産の取得による支出	△1,465	△2,456
有形固定資産の売却による収入	1	7
無形固定資産の取得による支出	△52	△108
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	12	—
その他	△51	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553	△2,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,550	7,365
短期借入金の返済による支出	△6,885	△6,555
長期借入れによる収入	1,300	1,727
長期借入金の返済による支出	△662	△702
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△2
配当金の支払額	△172	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,128	1,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	89
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,340	△200
現金及び現金同等物の期首残高	3,468	4,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,809	3,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,389	3,127	463	1,251	1,109	23,342	604	23,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,347	3,788	1,070	2	—	7,209	—	7,209
計	19,737	6,916	1,534	1,253	1,109	30,551	604	31,156
セグメント利益 又は損失(△)	743	254	17	74	67	1,157	81	1,238

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,157
「その他」の区分の利益又は損失(△)	81
セグメント間取引消去	△119
持分法投資利益又は損失(△)	107
その他の調整額	△40
四半期連結損益計算書の経常利益	1,185

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	東南 アジア	中国	ドイツ	アメリカ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,367	4,180	646	1,383	1,367	24,944	770	25,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,014	4,366	1,077	0	—	7,458	—	7,458
計	19,381	8,546	1,724	1,383	1,367	32,402	770	33,173
セグメント利益 又は損失(△)	188	△14	△81	112	111	315	15	331

(注) 「その他」の区分は、国内子会社及び韓国の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	315
「その他」の区分の利益又は損失(△)	15
セグメント間取引消去	44
持分法投資利益又は損失(△)	96
その他の調整額	△28
四半期連結損益計算書の経常利益	444